

釈尊を受け継ぐ龍樹思想の伝統の中に、  
大乘仏教の仏道体系に基づく浄土思想を見る



# 小川一乗 仏教思想論集

全4巻  
法藏館

小川一乗博士は、大谷大学の助手時代に、「インド大乘仏教における如来蔵・仏性の研究——ダルマリンチェン造宝性論釈疏の解説」によって、宝性論研究に新分野を開拓したすぐれた研究として、日本宗教学会賞を受けられた。これは同時に、大乘仏教の広い思想の中に如来蔵・仏性の思想を跡づけ、般若の空思想との関係を明確にしたことによって大乘仏教研究に貢献するものである、として高い評価を受けた。

それ以来小川博士は、一貫して、智慧から慈悲へと動向し一切衆生の救済を実現していくという大乘の仏道体系の伝統に基づいて、「仏教とは何か」「大乘仏教の真髄は何か」という問題意識を中心に思索と研究を続け、幾多の成果を産み出してこられた。

なかでも釈尊の思想を受け継ぐ龍樹の思想、及びそれに続く中観思想の歴史を大乘仏教の伝統として概観し、その流れの中に本流としての浄土思想を位置づけていることは一つの大きな特徴である。また、チベット訳・漢訳資料の詳細な検討を通しての如来蔵・仏性思想の研究は、在来の研究を越えた大きな成果として注目されるところである。

本論集は、こうした様々な成果の中から、仏性思想、中観思想と、それに基づく浄土思想——親鸞によって開顕された「真宗」——に関する著作・論文を精選して全四巻に収めたものである。本論集が、よりよく生きることを願う、広く多くの読者に迎え入れられることを期待してやまない。

二〇〇四年一月

法蔵館

全巻内容

第一巻 仏性思想論 I

ISBN4-8318-3374-6

I 如来蔵・仏性の研究

- 第一部 宝性論における如来蔵・仏性
- 第一章 宝性論の内容
- 第二章 漢訳語「仏性」の原語
- 第三章 如来蔵・仏性の三種義
- 第四章 一切有情に如来蔵・仏性が有る、と説示する必要性
- 第五章 常楽我浄の四波羅蜜多について

第二部 如来蔵・仏性の本意——結文としての試論——

- 第一章 智慧から慈悲への動向
- 第二章 悉有仏性の意義

II 宝性論と仏性論

第二巻 仏性思想論 II

ISBN4-8318-3375-4

I 仏性思想の研究

- 序章 仏性思想解明についての前提
- 第一章 仏性思想に対する問題提起
- 第二章 「仏性」の原語とその意味について
- 第三章 「悉有仏性」の意味
- 第四章 仏性思想の思想史的意義
- 第五章 仏性思想における空性
- 第六章 仏性思想における四波羅蜜多
- 第七章 悉有仏性と一闍提
- 結章 大乘としての悉有仏性

II 智慧から慈悲への動向

- 一 智慧から慈悲への動向
- 二 仏の業と仏性の業
- 三 如来蔵思想と空
- 四 仏性思想における空性の問題
- 五 チベットに伝わる如来蔵思想



# 推薦のことば

## 藤田宏達

北海道大学名誉教授・札幌大谷短期大学名誉教授

### 山口益博士の学風を継承し、大乘の仏道体系を解明

小川一乗博士は、近代仏教学の泰斗、故山口益博士に師事した最後の門下生と聞く。その恩師の学風を受けて、小川博士は若くして、インド大乘仏教における如来藏・仏性思想の根源を、チベット仏教の伝承に照合して、見事に究明された。その後、インド中観思想の精密な考究を行い、それは学位論文を始めとして空性思想に関する諸成果に結実した。そして、恩師にならって、大乘の仏道体系としての浄土思想、なかんずく親鸞の思想の解明を進め、またその啓蒙に努められている。

こうした多年の業績の中から学術的論著を選んで本論集が刊行されることは、まことに喜ばしい。特に「浄土思想論」は、最近の安居講録から成り、種々な問題を提示している。本論集が、学人はもとより一般読者にも広く読まれることを期待して、ここに推薦する。

## 熊谷宗恵

真宗大谷派宗務総長

### 混迷を極める現代に、一筋の光明

このたび、小川一乗師の仏教思想論集が刊行されることとなった。

申し上げるまでもなく、小川師は大乘仏教研究の第一人者であり、大乘仏教の流れの中に本流としての浄土思想を位置付け思索を重ねておられることである。殊に近年、大乘仏教の伝統と浄土思想を背景に、独善的な迷信の域を超えた「すくい」と、観念的議論の域にとどまらない「さととり」という重要な課題を提起し、現代社会における諸問題に対して、応答されておられる。そのような師の思索の歩みは、現代（いま）という時代にあって、真宗の教えに生きようとする私どもにとって大きな示唆となるものである。

その師の代表的な論考を収載した論集が刊行されることは、まさに混迷を極める現代にあって、一筋の光明を見る思いである。願わくはこの論集の刊行によって、大乘仏教の至極である浄土の真宗の教えがより顕かとなり、向後の仏教思想の展開がさらに切り開かれることを願ってやまない。

## 第三卷 中観思想論

### I 大乘仏教と中観思想

- 一 「大乘」における仏教の全的把握のために
- 二 「空」という否定
- 三 龍樹の主張する「即」の仏道
- 四 大乘菩薩道における「唯」の思想
- 五 中観説における「絶対否定の中道」
- 六 菩薩の大悲
- 七 「所知障」に関する中観的解釈
- 八 仏教における「対論」の意味
- 九 業論に対する龍樹の批判
- 十 「輪廻転生」に関する見解

### II 龍樹の中観説とは何か——翻訳編

- 一 「時間」についての考察
- 二 アーラヤ識不要論
- 三 ツォンカパ造『論理の海』

## 第四卷 浄土思想論

### I 親鸞が学んだ龍樹の仏道——『十住毘婆沙論』——

(安居本講 平成6年)

- 序 章 龍樹と『十住毘婆沙論』
- 第一章 『十住毘婆沙論』について
- 第二章 龍樹の仏教
- 第三章 『十住毘婆沙論』における菩薩道
- 第四章 親鸞における龍樹の「即」
- 終 章 用念仏故 得空三昧

### II 浄土と往生——『顕浄土真仏土文類』——

(安居本講 平成15年)

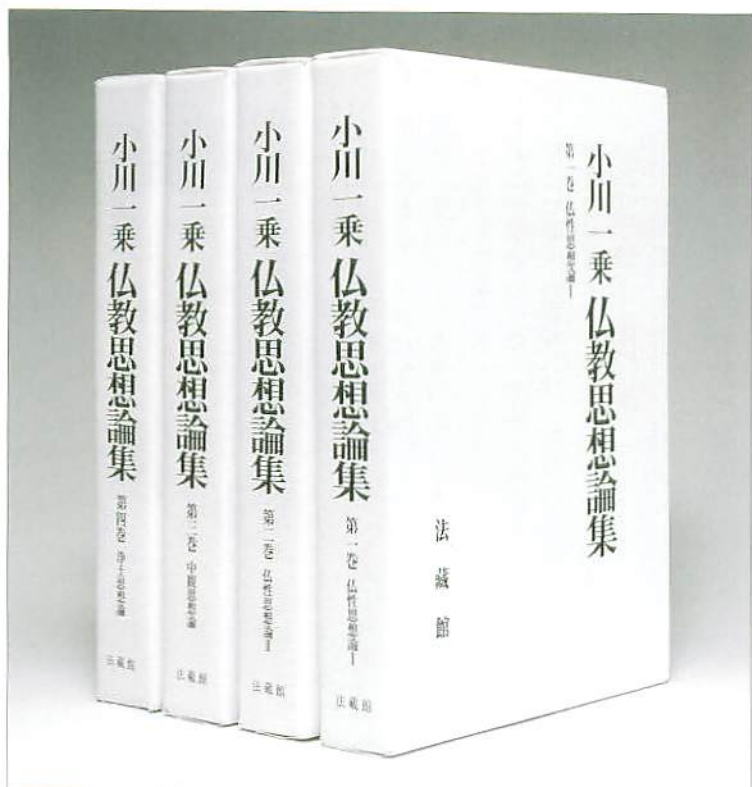
- 第一部 「真仏土」解釈のための序説
- 第一章 「真仏土」は「証の中より開く」
- 第二章 必至滅度について
- 第二部 「真仏土」解釈
- 第一章 標孝文と光寿無量
- 第二章 光寿無量としての阿弥陀如来
- 第三章 結成文
- 結 章 さとりとすくい

## 略年譜 (小川一乗・おがわ いちじょう)

一九三六年六月北海道に生まれる。五九年三月大谷大学文学部卒業(仏教学)。六一年三月同大学院修士課程修了(同)。六五年三月同大学院博士課程満期退学(同)。七四年四月大谷大学専任講師。七九年四月同大学助教授。八二年四月同大学教授。八六年三月大谷大学文学博士(学位取得)。この間、七九年四月〜八〇年三月大谷大学短期大学部長、同年四月〜八三年三月大谷大学学生部長、九六年四月〜九八年三月同大学学監・文学部長、二〇〇〇年四月〜大谷大学長兼同大学短期大学部学長。

# 予約受付中

二〇〇四年三月刊行開始(隔月刊)



### 【特色】

- \* 如来蔵・仏性思想、中観思想、浄土思想に関する著書・論文を精選して収録。
- \* 各巻に索引を付す。
- \* 第四巻に詳細な著者の業績・著作目録を収める。

### 【読者対象】

- \* 仏教学、宗教学、思想史等の研究者。研究機関。
- \* 大学研究室、大学図書館、公共図書館、寺院。
- \* 仏教・特に真宗の勉強を志す一般の読者。

### 【体裁】

- \* A5判・上製函入、本文14級一段組
- \* 各巻平均三四〇頁

### 【定価】

- \* 全4巻 セット定価 本体 三六、六〇〇円
- \* 第一巻・第二巻 各本体 八、八〇〇円
- \* 第三巻・第四巻 各本体 九、五〇〇円

## 法藏館

〒六〇〇-八二五三 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-333-3333 FAX 075-333-3333  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp  
表示価格は税別です

0403202000

## 申込書

法藏館刊  
小川一乗 仏教思想論集  
[全4巻]

第( )巻 ( )冊

全巻( )セット  
を申し込みます。

ご住所 〒

ご氏名

TEL

取扱書店